

しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その3

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 「小さなことも 積み重なれば 大きくなる」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 帯に短し たすきに長し イ ちりも積もれば山となる ウ 泣きつ面にはち

エ さるも木から落ちる こたえ _____

2 「思うように いかず もどかしい」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 百聞は一見にしかず イ ちりも積もれば山となる ウ 二階から目薬 エ 花より団子

こたえ _____

3 「出るくいは打たれる」の 意味は？

ア とても 苦労する イ 気が合う ウ すぐれた人や 出しゃばる人は にくまれやすいこと

エ どちらつかずで 役に立たない こたえ _____

4 「首を長くする」の 意味は？

ア 身近なことは かえって 気づきにくいこと イ 今か今かと 待ちこがれる

ウ 好きなことは 熱心に するので 上達しやすい エ 思うように いかず もどかしい

こたえ _____

5 「油を売る」の 意味は？

ア むだ話をして なまける イ 弱点を 言われて 聞くのが つらい

ウ 自分に 都合よく 数を ごまかす エ とても いそがしい こたえ _____

6 「石の上にも三年」の 意味は？

ア しんぼう強く 続ければ 成功する イ 思いがけない 幸運が まいこむこと

ウ せまい 知識だけで 広い 世界を 知らないこと エ あきやすく 長続きしないこと

こたえ _____

7 「すぐれた人や 出しゃばる人は にくまれやすいこと」という 意味の ことわざ・慣用句は？

ア 油を売る イ 出るくいは打たれる ウ 耳が痛い エ 一寸の虫にも五分のたましい

こたえ _____

8 「^き ^あ気が^い合う」という ^い意味の ^{かんようく}ことわざ・慣用句は？

ア ^{かお} ^{ひろ}顔が^な広い イ ^な泣き^{つら}っ面には^{はな}ち ^{はな}花より^{だんご}団子 エ ^{うま} ^あ馬が^い合う こたえ _____

9 「^{いそ} ^{まわ}急が^いば回れ」という ^い意味は？

ア ^{とち}土地が ^{しゅうかん}ちがえ^いば ^{いそ}習^{あんぜん}慣^{みち}や ^{かた}ものも ^{いそ}ちが^いうこと イ ^{いそ}急ぐ^{あんぜん}ときこそ ^{みち}安全^{かた}な道^いを ^{いそ}えら^いぶ方^いが ^{いそ}よい
ウ ^{いそ}とても ^{いそ}いそ^いがしい エ ^{いそ}とても ^{いそ}おど^いろく こたえ _____

10 「^{みみ} ^{いた}耳が^い痛い」という ^い意味は？

ア ^いもめ^いごとの ^いあと、^いかえ^いって ^いよい ^{じょうたい}状^い態^いに ^いなる^いこと
イ ^いすぐ^いれた^い人^いや ^い出^いしゃ^いば^いる^い人^いは ^いにく^いまれ^いやす^いい^いこと ウ ^い弱^い点^いを ^い言^いわれて ^い聞^いく^いのが ^いつらい
エ ^い思^いいが^いけ^いない ^い幸^い運^いが ^いまい^いこ^いむ^いこと こたえ _____

11 「^{やく} ^たどちら^いつか^いず^いで ^い役^いに^い立^いた^いない」という ^い意味の ^{かんようく}ことわざ・慣用句は？

ア ^{はな} ^{だんご}花より^い団子 イ ^いね^いこの^い手^いも^い借^いり^いたい ウ ^い帯^いに^い短^いし ^いた^いす^いき^いに^い長^いし エ ^い顔^いが^い広^いい
こたえ _____

12 「^し ^{こころ}知ら^いな^いけ^いれ^いば ^い心^いを ^いみ^いだ^いさ^いず ^いい^いら^いれ^いる^いこと」という ^い意味の ^{かんようく}ことわざ・慣用句は？

ア ^し ^{ほとけ}知ら^いぬ^いが^い仏 イ ^い朱^いに^い交^いわ^いれ^いば ^い赤^いく^いなる ウ ^い石^い橋^いを^いた^いた^いい^いて^い渡^いる エ ^い早^い起^いきは^い三^い文^いの^い徳^い
こたえ _____

13 「^{ちい} ^{よわ} ^{もの}小さく ^い弱^いい^い者^いに^いも ^いそれ^いなり^いの ^い意^い地^いが ^いあ^いる^いこと」という ^い意味の ^{かんようく}ことわざ・慣用句は？

ア ^い一^い寸^いの^い虫^いに^いも ^い五^い分^いの^いたま^いしい イ ^い三^い日^いば^いう^いず ウ ^い出^いる^いく^いいは^い打^いた^いれ^いる エ ^い灯^い台^いも^いと^い暗^いし
こたえ _____

14 「^{じぶん} ^{ちから}自^い分の^い力^いで^いは ^いどう^いす^いる^いこ^いとも ^いでき^いない」という ^い意味の ^{かんようく}ことわざ・慣用句は？

ア ^い手^いも^い足^いも^い出^いない イ ^いと^いら^いぬ^いた^いぬ^いき^いの^い皮^い算^い用 ウ ^い顔^いが^い広^いい エ ^い善^いは^い急^いげ こたえ _____

15 「^{あめふ} ^{じかた}雨^い降^いって^い地^い固^いまる」という ^い意味は？

ア ^し ^{こころ}知ら^いな^いけ^いれ^いば ^い心^いを ^いみ^いだ^いさ^いず ^いい^いら^いれ^いる^いこと イ ^いよい^いと ^い思^いった^いこ^いとは ^いす^いぐ^いに ^い行^いう^いのが ^いよい
ウ ^いもめ^いごとの ^いあと、^いかえ^いって ^いよい ^い状^い態^いに ^いなる^いこと エ ^いひ^いみ^いつ^いを ^いす^いぐ^い話^いして^いし^いま^いう
こたえ _____

16 「とらぬたぬきの皮算用」の 意味は？

ア 手^てに入る^{はい}前から^{まえ} あて^{あて}にして^し 計画^{けいかく}する イ 悪い^{わる}ことが 重^{かさ}なって 起^おこる

ウ もめごとのあと、かえ^{かえ}って よい 状態^{じょうたい}に なること エ とても いそがしい こたえ _____

17 「水を得た魚」の 意味は？

ア 自分^{じぶん}に 合^あった 場所^{ばしょ}で 生き^い生き^いする イ 何^{なん}度^ど 聞^きくより 一^{いち}度^ど 見^みる方^{かた}が よくわかる

ウ とても おどろく エ すぐ^{ひと}れた人^でや 出^{ひと}しゃばる人^はは にくまれやすいこと こたえ _____

18 「どんな 所^{ところ}でも 住^すみなれれば いごこちよく 感^{かん}じること」という 意味^{いみ}の ことわざ・慣用^{かんよう}句^くは？

ア 好^すきこそものの上^{じょう}手^ずなれ イ 首^{くび}を 長^{なが}くする ウ 早^{はや}起^あきは 三^{さん}文^{もん}の 徳^{とく} エ 住^すめば 都^{みやこ}

こたえ _____

19 「案^{あん}ずるより 産^うむが やすし」の 意味^{いみ}は？

ア 出^{である}歩^{おも}けば 思^{おも}いがけな^{である}いこと^に 出^{であ}会^あう

イ 心^{しん}配^{ぱい}するより 実^{じっ}際^{さい}に やっ^あて^んみ^がい^いると 案^{あん}外^{がい} かん^{かん}たん^{たん}な^なこと

ウ 知^しらな^こければ 心^{こころ}を みだ^{みだ}さ^さず い^いら^られる^ること エ 自^じ分^{ぶん}に 都^つ合^{ごう}よく 数^{かず}を ご^ごま^まか^かす

こたえ _____

20 「目^めを 丸^{まる}くする」の 意味^{いみ}は？

ア ほ^ほしく^くて た^たま^まら^らない イ とても おどろく ウ 自^じ分^{ぶん}に 都^つ合^{ごう}よく 数^{かず}を ご^ごま^まか^かす

エ 心^{しん}配^{ぱい}するより 実^{じっ}際^{さい}に やっ^あて^んみ^がい^いると 案^{あん}外^{がい} かん^{かん}たん^{たん}な^なこと こたえ _____

こたえ しょう4 こくご「慣用句・ことわざ」 その3

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 1 イ ちりも積もれば山となる | 12 ア 知らぬが仏 |
| 2 ウ 二階から目薬 | 13 ア 一寸の虫にも五分のたましい |
| 3 ウ すぐれた人や 出しゃばる人は にくまれやすいこと | 14 ア 手も足も出ない |
| 4 イ 今か今かと 待ちこがれる | 15 ウ もめごとの あと、かえって よい 状態になること |
| 5 ア むだ話をして なまける | 16 ア 手に入る前から あてにして 計画する |
| 6 ア しんぼう強く 続ければ 成功する | 17 ア 自分に 合った 場所で 生き生きする |
| 7 イ 出るくいは打たれる | 18 エ 住めば都 |
| 8 エ 馬が合う | 19 イ 心配するより 実際に やってみると 案外 かんたんなこと |
| 9 イ 急ぐときこそ 安全な道を えらぶ方が よい | 20 イ とても おどろく |
| 10 ウ 弱点を 言われて 聞くのが つらい | |
| 11 ウ 帯に短し たすきに長し | |